

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年1月22日(2009.1.22)

【公開番号】特開2006-175855(P2006-175855A)

【公開日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2005-344561(P2005-344561)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/175 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体噴射装置に装着されるカートリッジに対して液体を充填する液体充填方法であって

、

上記カートリッジに対して液体を注入する液体注入工程と、

上記液体注入工程で液体を注入した後、上記カートリッジが液体噴射装置に対して液体を供給する液体供給口を介してカートリッジ内から所定量の液体を吸引する吸引工程と、を備えたことを特徴とするカートリッジの液体充填方法。

【請求項 2】

上記カートリッジは、上記液体供給口に対する液体の供給圧力を制御する圧力制御弁を有し、当該圧力制御弁の圧力制御により内部に液体を保持するタイプのカートリッジである請求項 1 記載のカートリッジの液体充填方法。

【請求項 3】

上記吸引工程において、少なくとも上記カートリッジ内の液体供給路のうち上記圧力制御弁から液体供給口までの流路の容積に対応する量の液体を吸引する請求項 2 記載のカートリッジの液体充填方法。

【請求項 4】

上記吸引工程は、吸引工程において液体供給口から吸引する液体量に対応する容量の液体保持部に対し、液体を吸引保持することにより行う請求項 1～3 のいずれか一項に記載のカートリッジの液体充填方法。

【請求項 5】

上記吸引工程は、上記液体保持部の上流側に設けた開閉弁を閉弁して上記液体保持部に所定の負圧を蓄積した状態から、上記開閉弁を開弁することにより行う請求項 4 記載のカートリッジの液体充填方法。

【請求項 6】

上記カートリッジは液体噴射装置に装着され液体が消費された使用後のカートリッジであり、

上記液体注入工程に先立って上記使用後のカートリッジ内に残存した液体を、上記液体供給口から抜き取る液体抜取工程を備えた請求項 1～5 のいずれか一項に記載のカートリッジの液体充填方法。

## 【請求項 7】

上記液体注入工程において、上記液体抜取工程で液体を抜き取った後のカートリッジ内をあらかじめ 6 0 0 P a 以上 3 8 0 0 P a 以下に減圧した状態で、当該カートリッジに対して液体を注入する請求項 6 記載の液体充填方法。

## 【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の液体充填方法によって液体が充填されたカートリッジ。

## 【請求項 9】

液体噴射装置に装着されるカートリッジに対して液体を充填する液体充填装置であって、

上記カートリッジに対して液体を注入する液体注入手段と、

上記液体注入工程で液体を注入した後、上記カートリッジが液体噴射装置に対して液体を供給する液体供給口を介してカートリッジ内から所定量の液体を吸引する吸引手段と、を備えたことを特徴とするカートリッジの液体充填装置。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】